

令和5年度 一般会計予算

消防本部 主要事業説明資料

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R3決算額		部	消防本部	
	項	01 消防費	8,706千円		10,152千円		△ 1,446千円		10,205千円		課	総務課	
	目	01 常備消防費											
	事業	02 消防本部総務業務	国庫支出金		府支出金		市債		繰入金		その他		一般財源
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実												8,706
目的・趣旨	消防業務の企画、調整、施設の管理及び職員の被服等貸与並びに安全衛生管理等を行い、円滑な業務遂行を図る。		主な財源										
事業概要	○旅費 ・消防長会、消防学校、京都府主催会議等 647千円 ○交際費 ・消防長交際費 50千円 ○需用費 ・事務消耗品、職員被服等貸与品、図書、仮眠寝具購入等 2,521千円 ○役務費 ・電話料金、郵便料金等 1,996千円 ・筆耕翻訳料 1,471千円 ・仮眠寝具クリーニング代、各種申請手数料等 2千円 ・火災保険料等 422千円 101千円 ○委託料 1,232千円 ・B型肝炎予防接種、健康診断委託料		○使用料及び賃借料 592千円 ・コピー機借上料、有料道路通行料等 ○備品購入費 1,270千円 ・防火服（3着）、スマートフォン（10台） ○負担金 398千円 ・全国消防長会会費、全国消防協会会費等										

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R3決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	1,460千円	3,712千円	△ 2,252千円	3,521千円		
	目	01 常備消防費						
	事業	03 救急救命士養成業務					課	総務課
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
								1,460

目的・趣旨	<p>医師の指示の下、救急車内等で気管挿管及びビデオ硬性喉頭鏡を用いた気管内チューブによる高度な気道確保が可能な認定救命士を養成し、救命率の向上を図る。</p> <p>また、救急救命士病院研修の実施、病院前救護の質の向上を目的とした指導救命士の養成を行う。</p>	主な財源
-------	--	------

事業概要	○ビデオ硬性喉頭鏡の講習等経費	110千円	【令和5年度養成計画】	
	・旅費、有料道路通行料	10千円		・指導救命士：1人
	・講習等負担金	10千円		・気管挿管認定救命士：1人
	・病院実習負担金	90千円		・気管挿管（ビデオ硬性喉頭鏡）認定救命士：3人
				・病院研修：25人（対象者：運用救急救命士）
○指導救命士の講習等経費	450千円	【救急救命士認定・運用状況】		
・指導救命士養成派遣旅費	120千円		有資格者数	(うち運用数)
・講習等負担金	330千円		31人	(23人)
○委託料	600千円		薬剤投与	29人 (23人)
・救急救命士病院研修委託料			処置拡大	27人 (23人)
○負担金	300千円	気管挿管	17人 (12人)	
・気管挿管実習負担金		※令和5年1月末現在		

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R3決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	4,053千円	4,616千円	△ 563千円	2,582千円	課	総務課
	目	01 常備消防費						
	事業	04 消防学校等研修派遣業務		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							4,053
目的・趣旨	複雑多様化・高度化する消防業務に対応するため、より専門的な講習会、研修等に参加し、最新の技術や知識を学び職員の資質向上を図る。 また、消防活動上必要な各種資格を取得し、能力の向上に努める。		主な財源					
事業概要	○旅費 1,338千円 ・消防大学校、京都府立消防学校専科等研修、研究会等 1,186千円 ・各種資格取得、講習会 152千円 ○委託料 61千円 ・バス運転委託料 ○使用料及び賃借料 120千円 ・有料道路通行料 108千円 ・駐車場使用料 12千円		○負担金、補助及び交付金 2,534千円 ・消防大学校専科等研修、各種講習会等受講負担金 2,340千円 消防大学校研修派遣（警防科） 1人 府立消防学校総合教育派遣 4人 府立消防学校等各種専科（救助科、警防科等）教育派遣 9人 予防技術検定受験料 2人 潜水士受験料 1人 玉掛け、小型移動式クレーン資格取得 2人 無線従事者養成 1人 潜水技術研修派遣 1人 二級小型船舶操縦士受講 1人 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能 1人 フルハーネス型墜落制止用器具特別教育講習会 2人 伐採等業務従事者特別教育 2人 ・大型自動車免許取得補助金（2人分、補助率1/3） 194千円					

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R3決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	4,748千円	4,536千円	212千円	5,671千円	課	総務課
	目	01 常備消防費						
	事業	05 予防・警防等業務		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実						692	4,056
目的・趣旨	<p>各種事業所への立ち入り検査、防火管理指導を積極的に行うとともに、防火チラシ・ポスターの作成配布、防火講習会などの火災予防啓発に取り組む。</p> <p>また、複雑多様化する各種災害における迅速かつ的確で安全な消防活動を支えるため、資機材及び装備の充実を図る。</p>		主な財源	手数料 諸収入	消防手数料 防火管理者資格取得講習料			509 183
事業概要	<p>○予防関係経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 防火ポスター記念品代等 9千円 防火管理者講習会テキスト代、広報頒布材購入費 378千円 火災予防運動チラシ（年2回）、防火ポスター印刷費 303千円 通信運搬費（郵便代） 63千円 原材料費（火災予防工作物等） 88千円 			○警防関係経費		3,907千円		
					<ul style="list-style-type: none"> 消耗品（乾電池、備蓄食料等） 890千円 修繕料（消防機械器具、水難救助備品等） 653千円 手数料 1,012千円 （高圧ガス容器検査手数料、救助器具点検手数料等） ヘリポート除草作業委託料 478千円 訓練用車両借上料 30千円 消火、救助活動関係備品購入費 842千円 （消防用ホース、水難救助潜水用具） ヘリポート航空用灯火負担金 2千円 			

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R3決算額	部	消防本部											
	項	01 消防費	11,027千円	17,766千円	△ 6,739千円	13,386千円	課	総務課											
	目	01 常備消防費																	
	事業	06 救急活動業務					国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源							
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実						80	10,947											
目的・趣旨	<p>救命率向上のため、救急資機材の整備及び保守管理を行い、救急業務に万全な体制で対応する。 また、救命指示センターの医師との連携を図り、救急救命士が行う救命処置に対する指示、指導及び助言体制の強化や丹後メディカルコントロール協議会を通じた救急活動の事後検証を行い、救急隊員の資質向上に努める。</p>		主な財源	諸収入 救急救命士臨地実習負担金 80															
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○救急管外搬送旅費 62千円 ○需用費 5,328千円 <ul style="list-style-type: none"> ・救急活動消耗品費（感染防止衣等） 4,960千円 ・印刷製本費（救急患者搬送連絡票等） 237千円 ・救急活動備品修繕料 100千円 ・医薬材料費 31千円 ○役務費 1,340千円 <ul style="list-style-type: none"> ・毛布クリーニング代、医療産廃処理手数料等 1,228千円 ・救急救命士賠償・消防業務賠償責任保険 112千円 ○委託料 2,577千円 <ul style="list-style-type: none"> ・京都市救命指示センター委託料 1,466千円 ・高度救急医療資機材点検保守委託料 1,111千円 ○備品購入費 88千円 <ul style="list-style-type: none"> ・バックボード 1台 		<ul style="list-style-type: none"> ○負担金 1,632千円 <ul style="list-style-type: none"> ・救急安心センターきょうと運営協議会負担金 1,512千円 ・丹後メディカルコントロール協議会負担金 120千円 		<p>【救急出動件数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>件数</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年</td> <td>2,865件</td> <td>392件（15.9%）</td> </tr> <tr> <td>令和3年</td> <td>2,473件</td> <td>41件（1.7%）</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>2,432件</td> <td>△23件（△0.9%）</td> </tr> </tbody> </table>			年次	件数	前年比	令和4年	2,865件	392件（15.9%）	令和3年	2,473件	41件（1.7%）	令和2年	2,432件	△23件（△0.9%）
年次	件数	前年比																	
令和4年	2,865件	392件（15.9%）																	
令和3年	2,473件	41件（1.7%）																	
令和2年	2,432件	△23件（△0.9%）																	

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R3決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	105,268千円	196,694千円	△ 91,426千円	32,963千円		課
	目	01 常備消防費					国庫支出金	
	事業	07 通信指令業務			73,200		21	32,047
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							
目的・趣旨	<p>365日24時間体制で市民等からの火災、救急及び救助等の緊急通報を受け付ける消防指令システム及び消防救急デジタル無線を有効かつ的確に運用できるよう維持管理を行い、各種災害に対応する。</p> <p>また、令和6年4月に運用開始する京都府中・北部地域指令業務の共同化（6消防本部）に向け、消防指令事務協議会による高機能消防指令システムの構築及び消防指令センター庁舎の改修に取り組む。</p>		主な財源	諸収入	西山中継局電源設備利用負担金	21		
				市債	消防指令以外共同化事業債（緊急防災・減災事業債）	73,200		
事業概要	○報償費	47千円	・緊急通報用電話発信地表示システム委託料	479千円				
	・音声吹込謝金		・消防無線設定作業委託料	1,694千円				
○需用費	1,870千円	・消防用気象情報収集装置再検定委託料	1,183千円					
・指令書出力プリンタートナー等消耗品費	600千円	○負担金	74,402千円					
・通信指令施設関係修理、無線バッテリー、UPS	1,270千円	・消防救急デジタル無線基地局電気代負担金	180千円					
○役務費	9,567千円	・119番通報多言語対応負担金	55千円					
・NTT回線使用料等	8,915千円	・京都府中・北部地域消防指令センター共同運用準備負担金	74,067千円					
・消防無線再免許申請手数料	540千円	指令システム構築に係る負担金	69,266千円					
・消防用無線局免許情報整備技術料	112千円	建築に係る負担金	3,952千円					
○委託料	19,382千円	備品購入に係る負担金	731千円					
・Live119システム運用委託料	660千円	仮運用に係る光熱水費負担金（2か月分）	118千円					
・自家用電気工作物保安管理委託料	155千円	・京都府中・北部地域消防指令事務協議会負担金	100千円					
・聴覚障害者用緊急WEB通報システム運用委託料	660千円							
・通信指令施設等保守管理委託料	14,551千円							

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R3決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	22,032千円		19,350千円		2,682千円		19,891千円			
	目	01 常備消防費										
	事業	08 庁舎等維持管理事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実						416	21,616				
目的・趣旨	災害時等に活動拠点となる消防庁舎及び災害対応する消防車両の保守点検等維持管理を行う。		主な財源	使用料	公有財産使用料							416
事業概要	消防庁舎 4署所（峰山本署、網野分署、久美浜分署、竹野川分遣所）				○車両関係経費							9,436千円
	消防車両 20台（救急車5台、ポンプ車4台、指揮支援車1台、救助工作車1台、指令・広報車5台、資機材搬送車1台、事務連絡車2台、軽トラック1台）				<ul style="list-style-type: none"> ・燃料費（ガソリン、軽油等） 5,300千円 ・車検整備、修繕料 3,255千円 ・自動車登録手数料（8台） 194千円 ・タイヤ・バッテリー処分手数料 20千円 ・自賠責保険料、自動車任意保険料 416千円 ・自動車重量税（8台） 251千円 							
	○消防庁舎関係経費		12,596千円									
	・消耗品費（清掃用品、蛍光管等）		400千円									
	・燃料費（灯油、LPガス等）		1,700千円									
	・光熱水費（上下水道料金、電気料金）		8,700千円									
	・修繕料（空調機器、変電設備気中開閉器取替等）		1,199千円									
	・ごみ持込処理手数料、家電リサイクル料		42千円									
	・委託料（自家用電気工作物、消防設備保守点検等）		289千円									
	・清掃用具借上料		194千円									
	・備品購入費（洗濯機1台）		72千円									

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R3決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	91,357千円	102,805千円	△ 11,448千円	37,767千円		
	目	02 非常備消防費						
	事業	01 団員報酬					課	総務課
			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							91,357

目的・趣旨	消防団条例に基づき、階級ごとの報酬を支給する。	主な財源
-------	-------------------------	------

事業概要	○消防団員報酬（団員数1,577人 ※R5.4.1見込み）	60,557千円	階級	年額	人員	金額
	○出勤報酬	30,800千円	団長	189,000円	1人	189,000円
	・災害	14,000千円	副団長	123,000円	3人	369,000円
	3時間以内の活動：3,000円/回		方面隊長	123,000円	6人	738,000円
	3時間超5時間以内の活動：5,000円/回		副方面隊長	96,000円	6人	576,000円
	5時間超の活動：8,000円/回		分団長	96,000円	25人	2,400,000円
	・訓練又は警戒：2,000円/回	16,800千円	副分団長	57,000円	25人	1,425,000円
			指導員	57,000円	25人	1,425,000円
			部長	43,000円	69人	2,967,000円
			班長	40,000円	146人	5,840,000円
			団員	36,500円	1,215人	44,347,500円
			支援団員	5,000円	56人	280,000円
			合計		1,577人	60,556,500円

※条例定数：1,730人

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R3決算額	部	消防本部																
	項	01 消防費						3,816千円	3,816千円	0千円	3,667千円	課	総務課											
	目	02 非常備消防費											02 公務災害補償費等	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源					
	事業																							
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実						300						3,516											
目的・趣旨	火災や風水害等での危険を伴う活動に従事する消防団員や住民参加の防火防災訓練に対し、公務上の災害又は訓練の際に発生した事故に損害賠償や災害補償を行う。		主な財源	諸収入 消防団員公務災害補償金 300																				
事業概要	○災害補償費（公務災害補償） 消防団員や地域住民が災害現場で活動中に負傷した場合、市消防団員等公務災害補償条例に基づき治療費等を支給		300千円	○負担金 3,516千円 ・消防団員等公務災害補償等共済掛金 3,466千円 消防団員や地域住民が活動中に受けた災害が、公務上と認められた場合に補償を行うための掛金																				
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>1人当たり掛金</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団員</td> <td>1,730人</td> <td>1,900円</td> <td>3,287千円</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>50,860人</td> <td>3.5円</td> <td>179千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>3,466千円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	人数	1人当たり掛金	金額	団員	1,730人	1,900円	3,287千円	市民	50,860人	3.5円	179千円	合計			3,466千円
区分	人数	1人当たり掛金	金額																					
団員	1,730人	1,900円	3,287千円																					
市民	50,860人	3.5円	179千円																					
合計			3,466千円																					
				※団員数：令和4年10月1日現在の条例定数、人口：R2国勢調査人口 ・防火防災訓練災害補償等共済掛金 50千円 住民参加の防火防災訓練の際に発生した事故に対して、補償を行うための掛金																				

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R3決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	33,216千円	33,216千円	0千円	35,682千円	課	総務課
	目	02 非常備消防費						
	事業	03 団員退職報償金						
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
								33,216
目的・趣旨	5年以上在職した消防団員が退職した場合、その労苦に対する慰労金として在職年数や階級に応じて退職報償金を支給するため、消防団員等公務災害補償等共済基金に対し掛金を支払うもの。		主な財源					
事業概要	○消防団員退職報償金掛金 条約定数 1,730人 × 19,200円 = 33,216千円 (令和4年10月1日現在)		33,216千円					

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R3決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	60,148千円	85,931千円	△ 25,783千円	89,546千円	課	総務課
	目	02 非常備消防費						
	事業	04 消防団活動運営事業						
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		867					一般財源 59,281
目的・趣旨	火災、地震、風水害等において、地域の安全の確保と被害拡大を防止するため、日夜訓練を重ねている消防団員の資質向上や技能習得のために必要な訓練及び活動等のほか、消防車両等を維持管理する。		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源 867
事業概要	○報償費 28,270千円		○委託料 245千円					
	<ul style="list-style-type: none"> 消防団運営活動謝金（団員数1,577人 ※R5.4.1見込み） 28,017千円 本部、方面隊、分団、指導員、ラッパ鼓隊、女性消防隊、支援隊 報償物品（表彰状、表彰徽章） 253千円 		<ul style="list-style-type: none"> 会場設営委託料（市長査閲） 170千円 機器保守点検委託料（AED12台） 75千円 					
事業概要	○旅費 4,117千円		○使用料及び賃借料 752千円					
	<ul style="list-style-type: none"> 京都府消防大会、全国女性消防団員活性化石川大会等 		<ul style="list-style-type: none"> 大型バス借上（消防学校入校等）、有料道路通行料 528千円 会場使用料（出初式） 117千円 土地借上料（消防車庫用地、防火水槽用地） 107千円 					
事業概要	○需用費 19,781千円		○備品購入費（消防用ホース、車載消火器） 1,890千円					
	<ul style="list-style-type: none"> 活動服（182着） 2,603千円 編上靴、水利標識板、新型コロナ対策等消耗品 2,697千円 消防自動車燃料費、修繕料（83台） 11,600千円 光熱水費（消防車庫等施設） 2,800千円 印刷製本費（「火の用心」ステッカー） 81千円 		<ul style="list-style-type: none"> ○負担金、補助及び交付金 585千円 京都府消防協会支部負担金 255千円 準中型免許等取得補助金（3人、補助率2/3、上限110千円） 330千円 					
事業概要	○役務費 2,945千円		○公課費（自動車重量税） 1,563千円					
	<ul style="list-style-type: none"> 筆耕料（定例表彰等） 59千円 手数料（ごみ処理、消防ポンプ点検等） 1,330千円 保険料（火災保険、自賠責保険、任意保険） 1,556千円 							

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額 19,464千円	前年度予算額 19,464千円	増減額 0千円	参考R3決算額 19,464千円	部 消防本部		
	項	01 消防費							
	目	02 非常備消防費							
	事業	05 消防設備維持管理事業							
課			国庫支出金		府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実								19,464

目的・趣旨	消火活動に必要な消火栓の維持管理費用として、設置数に応じて水道事業会計へ繰り出すもの。		主な財源

事業概要	○水道事業会計繰出金 3,244基×6,000円/基 19,464千円	
	【消火栓設置数】	
	峰山町	459基
	大宮町	499基
	網野町	604基
	丹後町	378基
	弥栄町	353基
	久美浜町	951基
合計	3,244基	

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R3決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	4,916千円		73,221千円		△ 68,305千円		45,513千円		課	総務課
	目	03 消防施設費										
	事業	01 常備消防施設等整備事業		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源			
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				4,800				116			
目的・趣旨	災害発生時に迅速かつ的確に対応するとともに、地域住民の安全・安心の確保を図るため、老朽化した指令広報車を更新整備する。		主な財源	市債 消防自動車整備事業債（過疎対策債） 4,800								
事業概要	<p>【指令広報車の更新整備】 配備先：久美浜分署 ※22年経過</p> <p>○役務費 91千円 ・自動車登録手数料、自動車リサイクル料 78千円 ・自動車賠償責任保険、任意保険 13千円</p> <p>○備品購入費 4,800千円 ・指令広報車 1台</p> <p>○公課費 25千円 ・自動車重量税</p>											

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R3決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	31,436千円		61,983千円		△ 30,547千円		73,957千円			課
	目	03 消防施設費										
	事業	02 非常備消防施設等整備事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			5,500	25,600							336
目的・趣旨	火災をはじめ風水害や地震などの災害発生時に迅速かつ的確に対処するため、年数が経過し老朽化した消防車両等を更新する。 また、消防団車両を格納するための消防車庫を更新整備する。	主な財源	府補	地域防災力総合支援事業補助金							5,500	
			市債	消防自動車整備事業債（緊急防災・減災事業債）							23,500	
			市債	消防防災施設整備事業債（合併特例債）							2,100	
事業概要	【消防車両等整備】	29,136千円	【消防車庫等整備】	2,300千円								
	久美浜第4分団第1部（関） ※25年経過		掛津消防車庫（網野第1分団第2部）									
	弥栄第3分団第2部（井辺） ※24年経過		整備場所：網野町掛津地内 構造・面積：鉄骨造平屋建・約33㎡									
	○役務費	70千円	○委託料（工事設計委託料）	2,300千円								
	・自動車登録手数料、自動車リサイクル料	45千円										
	・自動車賠償責任保険、任意保険	25千円										
○備品購入費	29,000千円											
・多機能型小型動力ポンプ付積載車（2台）												
○公課費	66千円											
・自動車重量税												

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額 32,000千円	前年度予算額 43,000千円	増減額 △ 11,000千円	参考R3決算額 21,588千円	部 消防本部															
	項	01 消防費																				
	目	03 消防施設費																				
	事業	03 消防水利等整備事業																				
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源														
目的・趣旨	<p>防火水槽は火災における確実な消防水利として迅速かつ的確な消防活動を行うことができるため、充足率の低い地域を優先して計画的に整備する。</p> <p>また、老朽化した消火栓ホース格納箱など消火栓備品を更新し、地域の防災力を高める。</p>		主な財源	市債 消防防災施設整備事業債（合併特例債）				27,700														
事業概要	○需用費 300千円		○備品購入費（消火栓備品） 2,500千円																			
	<ul style="list-style-type: none"> 修繕料（消火栓修繕） 		<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋外型ホース格納箱（スチール製）</td> <td>70台</td> </tr> <tr> <td>屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）</td> <td>70台</td> </tr> <tr> <td>消火栓用ホース</td> <td>90本</td> </tr> <tr> <td>管そう（ストレートノズル）</td> <td>35本</td> </tr> <tr> <td>消火栓開閉ハンドル（地上式用）</td> <td>1本</td> </tr> <tr> <td>スタンドパイプ（地下式用）</td> <td>3本</td> </tr> </tbody> </table>		品名	数量	屋外型ホース格納箱（スチール製）	70台	屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	70台	消火栓用ホース	90本	管そう（ストレートノズル）	35本	消火栓開閉ハンドル（地上式用）	1本	スタンドパイプ（地下式用）	3本				
品名	数量																					
屋外型ホース格納箱（スチール製）	70台																					
屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	70台																					
消火栓用ホース	90本																					
管そう（ストレートノズル）	35本																					
消火栓開閉ハンドル（地上式用）	1本																					
スタンドパイプ（地下式用）	3本																					
○工事請負費 29,200千円																						
<ul style="list-style-type: none"> 耐震性貯水槽新設工事（1基） 耐震性貯水槽（40㎡・弥栄町和田野地区） 		16,000千円																				
<ul style="list-style-type: none"> 消火栓設置工事（15基） 		13,200千円																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>設置</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新設</td> <td>地上式</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>移設</td> <td>地上式</td> <td>2基</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上水道工事に伴う更新</td> <td>地下式</td> <td>2基</td> </tr> <tr> <td>地上式</td> <td>6基</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">道路改修に伴う更新</td> <td>地下式</td> <td>2基</td> </tr> <tr> <td>地上式</td> <td>2基</td> </tr> </tbody> </table>		区分	設置	数量	新設	地上式	1基	移設	地上式	2基	上水道工事に伴う更新	地下式	2基	地上式	6基	道路改修に伴う更新	地下式	2基	地上式	2基		
区分	設置	数量																				
新設	地上式	1基																				
移設	地上式	2基																				
上水道工事に伴う更新	地下式	2基																				
	地上式	6基																				
道路改修に伴う更新	地下式	2基																				
	地上式	2基																				

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額 1,927千円	前年度予算額 1,412千円	増減額		参考R3決算額		部	消防本部
	項	01 消防費			515千円		2,142千円			
	目	03 消防施設費							課	総務課
	事業	50 消防施設一般経費			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金		
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実									1,927
目的・趣旨	消防活動を円滑に行うため、消防資機材、車庫及び消防水利等の維持管理を行う。		主な財源							
事業概要	○需用費 ・光熱水費（小西川可動堰等電気代） ・修繕料（消防車庫、防火水槽等修繕）		1,278千円 78千円 1,200千円							
	○使用料及び賃借料 ・デジタル簡易無線局電波利用料		149千円							
	○工事請負費 ・旧三津消防車庫解体撤去工事（昭和37年建築・16㎡）		500千円							